

各 位

2013年3月25日



会社名：株式会社メッセージ

代表者名：代表取締役社長 古江 博

(JASDAQコード番号：2400)

問合せ先：執行役員経営企画部長 岩本隆博

電話番号：086-242-1551

第三者割当による第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行の中止 および有価証券届出書の取り下げに関するお知らせ

当社は、平成25年3月25日開催の当社取締役会において、平成25年3月8日付けの当社のプレスリリース「第三者割当による第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行に関するお知らせ（転換価額修正条項付新株予約権付社債の発行）」（以下「発行プレス」という。）に発表しました第三者割当による第1回無担保転換社債型新株予約権付社債（以下「本MSCB」という。）の発行を中止することを決議し、本MSCBの発行について当社が同日付けで中国財務局長宛に提出しました有価証券届出書を取り下げることにいたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本MSCB発行中止の理由

当社は平成25年3月8日開催の当社取締役会において、野村證券株式会社を割当先とする本MSCBの発行について決議いたしました。

当社は、本MSCBの発行について決議（以下「本発行決議」という。）するにあたっては、発行プレスの「2. 募集の目的及び理由（2）本新株予約権付社債を選択した理由」に記載しましたとおり、当社の置かれている状況に鑑み、様々な事情を慎重に勘案した上で、本発行決議の時点において当社の資金調達手法として最良の選択肢であると考えておりました。しかしながら、本発行決議以降、本MSCBによる資金調達について、主要な株主の皆様を含む当社のステークホルダーから本MSCBの発行について厳しいご批判を受ける経緯もあり、当社が本発行決議の時点において想定していた以上に、本MSCBの発行について当社に対してマーケットから厳しい評価がされていることを認識するに至りました。さらに、転換価額修正条項付新株予約権付社債が資金調達手法として利用された過去の事例における印象のためか、当社が対外的に公表できない資金的な問題を有しているために本MSCBの発行を決議せざるを得なかったのではないかという、誤解に基づく風評を生んでいる状況であることが分かりました。当社としましては、前述のとおり、本発行決議の時点において、当社の資金調達手法として本MSCBは最良の選択肢であると考えておりましたが、資金調達手法として本MSCBを採用する合理性があったとしても、かかる厳しい評価をそのままとし、更なる風評を生みかね

ない状況を放置することは、当社の今後の中長期的な視点での発展、ひいては、企業価値の維持向上の観点に鑑みますと、必ずしも望ましくないと考えました。そして、当社は、今回の本MSCBの発行について改めて総合的に検討したところ、本MSCBの発行を中止することが、当社の企業価値の維持向上の観点から、株主をはじめとするステークホルダーの皆様にとって、現時点において最良の選択であると判断するに至りました。

2. 今後の見通し

当社は、今回の本MSCBの発行による調達資金は、今後予定されるサービス付き高齢者向け住宅建設資金、介護付き有料老人ホームの買収資金および介護スタッフの医療行為資格取得費用等の一部に充当する予定でありました。当社といたしましては、これらの資金は依然として調達の必要性があると考えており、今後も資金調達の時期及び手法等に関する検討を続けてまいります。

以上